

# さくらそう通信

VOL.30 2019.10



## 2019年 サクラソウ生育状況調査結果

田島ヶ原サクラソウ自生地では、1965年より、サクラソウの生育状況調査を毎年実施しています。

第一次指定地に10メートル×10メートルの調査枠を11カ所設置し、枠内のサクラソウの生育個体数と開花個体数を数えています。1調査枠あたりの個体数平均から、自生地全体（約4.12ヘクタール）の生育個体数を推定しています。

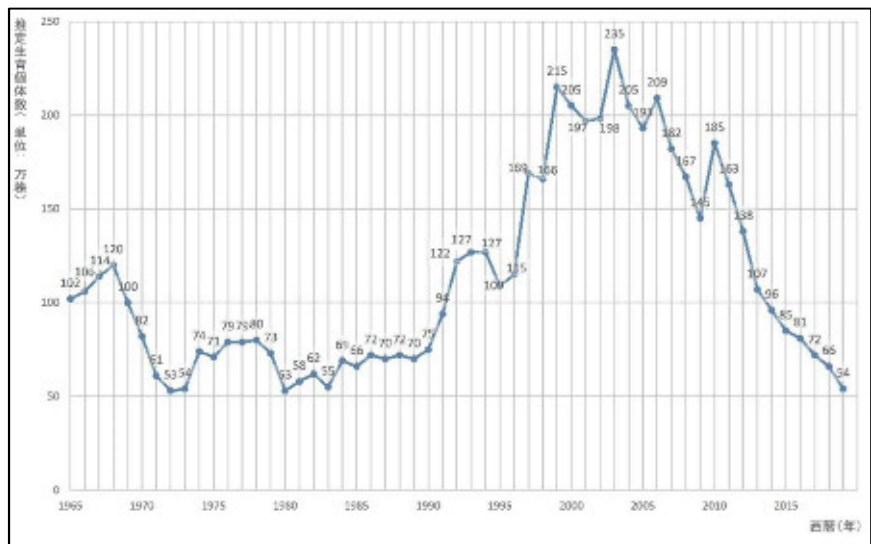
今年は、4月9日から4月15日まで調査を実施しました。1調査区あたりの生育個体数平均は約1,304株、自生地全体の推定生育個体数は約54万株でした。なお、開花個体数については、1調査区あたりの平均は237株、開花株率は18.2%でした。

近年、サクラソウの推定生育個体数は、右図のとおり急激に減少しています。この減少要因を解明し、対策を講ずるため、今年度から自然科学分析調査を開始しました。サクラソウのDNA解析や、自生地の土壌分析等を実施しています。このほか、自生地の乾燥化に対処するため、桜草公園の水道から自生地に農業用チューブを引き、人為的な灌水を試みる実験を開始しました。これらの調査、実験の結果は、今後のさくらそう通信でお伝えしていきます。



▲生育状況調査の様子

作業員が手作業で1株ずつ数えます。



▲サクラソウ推定生育個体数の増減グラフ

近年は急激な減少が続き、危機的な状況です。

さくらそう通信 30号 発行日：令和元年10月3日

編集・発行：さいたま市教育委員会 さいたま市浦和区常盤6-4-4 ☎048-829-1723（文化財保護課）